

がま氷 始めます

今年の夏は何やら楽しそうな企画がある予感…。暑い夏はやっぱりこれですね。



夏の風物詩・かき氷

ある会社の調査で、気温 20 度の涼しいときはほとんどの人がアイスクリームを食べたいと感じていますが、暑くなるにつれてかき氷を食べたい人の割合が増加し、気温 34 度を境目に需要が逆転することが分かりました。

食べると体がひんやりして、暑い夏には欠かせないかき氷。ひと昔前までは、お祭りの屋台で食べるイメージが強かったですが、最近では専門店があるほど、スイーツとして確立された存在になっており、その進化はとどまることを知りません。伝統的なかき氷に加えて、革新的なスタイルのかき氷も登場し、かき氷の世界はますます多様化しています。



がまごおり×かきごおり

今夏、蒲郡の夏の魅力をアップさせるため、市観光協会では「がま氷博覧会」を開催することになりました。「がま氷」は、最近盛り上がりを見せている「かき氷」と「蒲郡」を組み合わせています。期間は 6 月 29 日～9 月 30 日。市内の 21 店舗で、工夫を凝らした個性豊かなかき氷が提供されます。がま氷とは、蒲郡をイメージできる氷を使ったスイーツのこと。食材や形に制限は設けていません。がま氷を通して、地元の魅力を知ってもらうとともに、夏の蒲郡を楽しんでもらうことが狙いです。



かき氷の歴史

かき氷の歴史は古く、史実上の記録としては、平安時代の清少納言の『枕草子』が最初とされています。「あてなるもの（上品なもの・良いもの）」の段に、こんな文章があります。

けづりひ
削り氷にあまづらいてて、
かなまり
新しき金鉢に入れたる。

訳：削った氷に甘葛（葛の樹液を煎じた甘味料）をかけて、新しい金属のお椀に入れる。

製氷技術のなかった当時、特権階級の中でも限られた人しか食べられない贅沢品だったようですが、長い年月をかけ、今ではみんなに親しまれる食べ物となりました。

がま氷博覧会では、蒲郡をイメージできる、バラエティに富んだ氷がそろっています。蒲郡と言っても、みかんやいちご、深海魚など、たくさんの魅力があります。いろいろなお店を回って、推しのがま氷を見つけてください。今年の夏も猛暑と聞いています。がま氷を食べて、暑い夏を楽しみましょう！



市観光協会 藤井さん